

令和6年度第78回栃木県芸術祭美術展審査結果（日本画部門）

○応募総数	39点	[ 43点]	
○入賞点数	9点	[ 9点]	
○入選点数	30点	[ 33点]	* [ ] 内は昨年度

【審査寸評】

昨年度と比べて、若い方の出品で新しい感性を観せてくれる作品が多かった。全体的に作品のレベルが充実し、質的な高さを感じさせる。日本画を出品する社会環境は大変厳しい中であるが、負けずに制作された作品の中にその尊さと生命力を発見してほしい。

○芸術祭賞 「<sup>つきかげ</sup>月影」

白と黒を反転させて構成を試みた点が、新しい感性を感じさせ、功を奏していると思う。人物の描写・配置も大胆かつ繊細で、デザインの意匠性を感じさせる新しい作品との評価を得た。

○準芸術祭賞 「<sup>きょう なに た</sup>今日、何を食べるか？」

さりげない日常の勝手場を絵の世界にしたことがおもしろく、細かく写生をしていることに好感が持てる。今後とも、この視線を忘れずに絵の世界に取り組んでほしい。

○準芸術祭賞 「<sup>にわ</sup>庭」

非常に丁寧に植物を描いている。植物の自然な形を、作者の形に置き替え、高度な技術力を感じる。一方で、完成度が高すぎるとい難点も感じられてしまうため、きれいさだけに収まらない表現に期待する。

○U25賞 「<sup>いっしょ</sup>一緒にいれば」

中央の段ボールが何を物語っているのだろう。子犬と街、タイルのような壁？道？作者のくり出すキーワードから様々な想いを創造できる。できれば、もう少し大きな画面で見たかった作品である。

【入賞者及び入賞作品】

○芸術祭賞

川村 敏博 (かわむら としひろ) <宇都宮市> 「<sup>つきかげ</sup>月影」

○準芸術祭賞

黎 江 (れい こう) <宇都宮市> 「<sup>きょう なに た</sup>今日、何を食べるか？」

阿部 花梨 (あべ かりん) <宇都宮市> 「<sup>にわ</sup>庭」

○芸術祭奨励賞

柳澤 悦代 (やなぎさわ えつよ) <真岡市> 「もぐもぐ」

猪瀬 藤衛 (いのせ ふじえい) <上三川町> 「<sup>かたすみ</sup>片隅 (かたすみ) I」

横塚 定美 (よこつか さだみ) <真岡市> 「<sup>ゆき した</sup>雪の下」

木下 大輝 (きのした だいき) <宇都宮市> 「<sup>たわむ</sup>戯れ」

薄井 幸江 (うすい ゆきえ) <宇都宮市> 「<sup>やくそく</sup>約束」

○U25賞

王 同婧 (おう どうせい) <宇都宮市> 「<sup>いっしょ</sup>一緒にいれば」

令和6年度第78回栃木県芸術祭美術展審査結果（書道部門）

○応募総数	316点	[ 324点]	
○入賞点数	13点	[ 14点]	
○入選点数	216点	[ 215点]	* [ ] 内は昨年度

【審査寸評】

厳正な審査が行われた結果、漢字仮名交りの作品が芸術祭賞に選ばれた。沈着し、切れの良い安定した作品である。

上位作品は現代性を追求し、言葉の意見や思いを紙面に表現する漢字仮名交り作品や漢字少字数作品が多いと感じられ、将来に希望が持てる。準芸術祭賞の作品は、篆刻と少字数作品が選ばれた。

○芸術祭賞 「崩れる浪雷奔る」<sup>くず なみいかずちはし</sup>（漢字仮名交り）

切れ味の良い線が白を切り、落ち着いた構成で上品にまとめ上げている。  
特に各字が共鳴し、響き合って見事な作品である。

○準芸術祭賞 「融古創新」<sup>ゆうこそうしん</sup>（篆刻）

鋭く勁抜な刀法で鮮烈な風趣を見せており、純真正当な印章の格式の高さを見事に現代に蘇らせた傑作である。古人の叡智に真摯に学び、新たな美を創造し、句意の決意が見る者に伝わってくる。

○準芸術祭賞 「月光」<sup>げっこう</sup>（漢字少字数）

ロマンに溢れた躍動する運筆が魅力的な作品を生んだ。  
長鋒の用筆が成功している。

○U25賞

該当なし

【入賞者及び入賞作品】

○芸術祭賞

石戸 松波（いしど しょうは） 〈日光市〉 「崩れる浪雷奔る」<sup>くず なみいかずちはし</sup>

○準芸術祭賞

鶴見 晨蒲（つるみ しんぼ） 〈宇都宮市〉 「融古創新」<sup>ゆうこそうしん</sup>

小野崎啓太（おのざき けいた） 〈宇都宮市〉 「月光」<sup>げっこう</sup>

○芸術祭奨励賞

阿波 昊玄（あば こうげん） 〈下野市〉 「白蓮」<sup>びやくれん</sup>

松尾 光晴（まつお みつはる） 〈小山市〉 「張文昌詩」<sup>ちょうぶんしょうし</sup>

渡辺 祥蒲（わたなべ しょうほ） 〈栃木市〉 「松」<sup>まつ</sup>

飯島 裕太（いじま ゆうた） 〈宇都宮市〉 「塗鴉」<sup>とあ</sup>

飯野 彩心（いいの さいしん） 〈下野市〉 「黄之雋詩」<sup>こうししゆんし</sup>

岩上 智和（いわかみ ともかず） 〈上三川町〉 「高適詩」<sup>こうてきし</sup>

大塚 雅恵（おおつか まさえ） 〈真岡市〉 「蒼茫入望遙」<sup>そうぼう のぞみにいってほるかなり</sup>

柏崎 麗泉（かしわざき れいせん） 〈下野市〉 「干鵠詩」<sup>かんこうし</sup>

塚田 香蘭（つかだ こうらん） 〈野木町〉 「古今和歌集より いたづらに 他4詩」<sup>こきんわかしゅう</sup>

中原 藍（なかはら あい） 〈宇都宮市〉 「光馳せ」<sup>ひかりは</sup>

○U25賞

該当なし

令和6年度第78回栃木県芸術祭美術展審査結果（写真部門）

○ 応募総数	294点	[ 311点]	
○ 入賞点数	13点	[ 13点]	
○ 入選点数	132点	[ 147点]	* [ ] 内は昨年度

【審査寸評】

今年も多彩な応募作品を拝見し、大変感銘を受けた。皆様が体験した感動を写真に込めるために、何度も撮影に足を運び、技術を磨き、さまざまな工夫を凝らしたことだろう。力作が揃い、審査は毎年のことながら白熱した。その中で選ばれた作品は、どれも心に響く独自の強さを持っていた。

今後、御自身が魅力を感じる被写体を大切にしつつ、時には新しいジャンルにも挑戦し、楽しく撮影を続けていただければと思う。

○芸術祭賞 「MAX!!」

モーターボートの疾走感が見事に捉えられている作品である。流し撮りの妙技だろうか、水しぶきをまとったドライバーがまるで別世界を駆け抜けているかのような幻想的な雰囲気を生み出している。

暗い背景の中に浮かび上がるボートの姿が印象的、さらに手前の鮮やかな緑から赤へのラインが効果的なアクセントとなり、画面に強いインパクトを与えている。色彩と動きの調和の美しさに目を奪われた。

○準芸術祭賞 「<sup>せい</sup>なる<sup>しず</sup>けさ」

この作品は教会内部の神聖さと静寂さを見事に捉えている。歴史を感じさせる重厚な空間、開かれた書物が象徴的に配置され、奥行き表現とともに、多くの信者たちの祈りが伝わってくるようである。スタンドグラスから差し込む光が柔らかな輝きを与え、細部にわたる描写を通じて、作者がこの場所に抱く深い敬意が感じられる。全体的なトーンも作品に深みを与えている。

○準芸術祭賞 「<sup>はだし</sup>で<sup>ある</sup>歩<sup>たい</sup>き隊」

「肌足で歩き隊」というユーモアあふれるタイトルがぴったりのこの作品には、思わず「青春！」と審査員一同で声を上げた。背景に広がる海の美しい景色と、波打ち際にはしゃぎながら歩く姿が動的に捉えられ、見事に構図が印象的である。同じ制服を着た学生たちが、それぞれ異なる動きを見せる様子も興味深く、シャッターチャンス逃さなかった作者の技術が光っている。楽しさと躍動感が伝わり、心に残る作品である。

○U25賞  
該当なし

【入賞者及び入賞作品】

○芸術祭賞

中野 一郎 (なかの いちろう) <栃木市> 「MAX!!」

○準芸術祭賞

水森 英雄 (みずもり ひでお) <野木町> 「<sup>せい</sup>なる<sup>しず</sup>けさ」

野口 久男 (のぐち ひさお) <小山市> 「<sup>はだし</sup>で<sup>ある</sup>歩<sup>たい</sup>き隊」

○芸術祭奨励賞

堀江 京子 (ほりえ きょうこ) <宇都宮市> 「<sup>かなぼうひき</sup>金棒曳」  
 野澤 幸二 (のざわ こうじ) <益子町> 「<sup>がんしょうぐん</sup>岩礁群と<sup>よぞら</sup>夜空の<sup>きょうえん</sup>共演」  
 伴 良夫 (ばん よしお) <宇都宮市> 「<sup>にゅうこん</sup>入魂」  
 小林 トミ子 (こばやし とみこ) <宇都宮市> 「<sup>じあい</sup>慈愛」

高岩 重夫	(たかいわ しげお)	〈小山市〉	「春 <sup>はる</sup> の目覚 <sup>め</sup> め <sup>ざ</sup> 」
田中 俊男	(たなか としを)	〈小山市〉	「一 <sup>いっ</sup> 刀 <sup>とう</sup> 」
舟越 久栄	(ふなこし ひさえ)	〈宇都宮市〉	「親 <sup>おや</sup> 代 <sup>が</sup> わり」
高野 敦子	(たかの あつこ)	〈宇都宮市〉	「希 <sup>き</sup> 望 <sup>ぼう</sup> の旅 <sup>たび</sup> 立 <sup>だ</sup> ち」
齋藤 一郎	(さいとう いちろう)	〈真岡市〉	「命 <sup>いのち</sup> のリング」
小野澤 ヒロシ	(おのざわ ひろし)	〈宇都宮市〉	「睨 <sup>にら</sup> む」

○U25賞

該 当 な し

第78回 栃木県芸術祭美術展 日本画部門 入選者

(入賞者を除く)

氏名	市町名
杉山由比子	宇都宮市
剣持光子	宇都宮市
王詩晴	宇都宮市
鈴木京子	宇都宮市
白坂千春	宇都宮市
西原道子	宇都宮市
森勝男	宇都宮市
田畑邦弘	宇都宮市
峯田アキ子	宇都宮市
半田守可	宇都宮市
前田廣子	宇都宮市
塩野登美子	宇都宮市
山口昭	宇都宮市
久米久枝	足利市
千金楽恒水	栃木市
新井純	栃木市
仁戸部三重子	栃木市
早乙女昌弘	栃木市
小橋操	佐野市
吉木丈	鹿沼市
廣田伸子	鹿沼市
角田裕雅理	小山市
冨本博子	小山市
柳田眞由美	真岡市
細谷英子	真岡市
高橋やい子	真岡市
平塚和子	那須塩原市
小松尚子	さくら市
北條博三郎	下野市
鈴木克幸	野木町

以上

30 名

第78回 栃木県芸術祭美術展 書道部門 入選者(入賞者を除く)

氏名	市町名
赤羽根義貴	宇都宮市
阿久津裕美	宇都宮市
井野維子	宇都宮市
上野紅鴛	宇都宮市
岡村白秋	宇都宮市
金田玲華	宇都宮市
金田忠士	宇都宮市
倉田安子	宇都宮市
黒川香織	宇都宮市
齋藤寶統	宇都宮市
作佐部京子	宇都宮市
渋江真璃	宇都宮市
隅内晴香	宇都宮市
末永洋子	宇都宮市
鈴木游里	宇都宮市
奈良原翠風	宇都宮市
畑中菜那	宇都宮市
福富古龍	宇都宮市
宮下幸鼓	宇都宮市
森戸菜月	宇都宮市
山本光樟	宇都宮市
大原綾月	宇都宮市
川上天峯	宇都宮市
齋藤房子	宇都宮市
高久茂勝	宇都宮市
高根澤深幸	宇都宮市
高橋東路	宇都宮市
高橋麻季代	宇都宮市
田村静鶴	宇都宮市
冨澤宏子	宇都宮市
栃村信子	宇都宮市
防木正華	宇都宮市
星 司光	宇都宮市
渡辺温芳	宇都宮市
青木悦子	宇都宮市
河合恒明	宇都宮市
鈴木直樹	宇都宮市
飯野崇	宇都宮市
片岡青霞	宇都宮市
亀和田郁芳	宇都宮市
川上遊水	宇都宮市
鈴木健夫	宇都宮市
鈴木美代子	宇都宮市
高林由美	宇都宮市
中村ひろみ	宇都宮市
廣川紅舟	宇都宮市
松本光司	宇都宮市
吉岡玉雲	宇都宮市
真壁純枝	宇都宮市
村上千津子	宇都宮市
渡辺燁子	宇都宮市
岩瀬響鼓	宇都宮市
岩村一枝	宇都宮市
上野恵美	宇都宮市

氏名	市町名
岡田麻央	宇都宮市
小熊伸子	宇都宮市
釜井詔子	宇都宮市
釜井光江	宇都宮市
神藤信游	宇都宮市
黒崎秀月	宇都宮市
下司香雪	宇都宮市
小林春霞	宇都宮市
小林杜子	宇都宮市
小室響川	宇都宮市
齋藤洋子	宇都宮市
山王堂芳翠	宇都宮市
始澤多恵	宇都宮市
柴田響水	宇都宮市
柴田宗寿	宇都宮市
柴田美紗	宇都宮市
高橋香代子	宇都宮市
高橋 陸	宇都宮市
塚田湊心	宇都宮市
恒川典濤	宇都宮市
登坂時子	宇都宮市
栃木洋子	宇都宮市
生井珀羊	宇都宮市
萩野谷香華	宇都宮市
萩野谷聡美	宇都宮市
長谷川正子	宇都宮市
坂内葉胡	宇都宮市
平塚祐子	宇都宮市
益子史舫	宇都宮市
箕輪好恵	宇都宮市
宮澤智子	宇都宮市
室井大輔	宇都宮市
山岡登美	宇都宮市
山本響花	宇都宮市
山本晴子	宇都宮市
鷺田凱士	宇都宮市
倉田松苑	足利市
須藤珠翠	足利市
山田香邨	足利市
秋山名華	足利市
上野星蘭	足利市
岡部子燕	足利市
椎名晴堂	足利市
阿部桂舟	栃木市
大屋理江	栃木市
木村四葉	栃木市
栗原梅香	栃木市
櫻井芳山	栃木市
佐山春翠	栃木市
佐山直美	栃木市
白井薫苑	栃木市
嶋田瑛	栃木市
嶋田公子	栃木市
高久知美	栃木市

氏名	市町名
竹中秋佳	栃木市
田名網萬靜	栃木市
富田明蘭	栃木市
林竹聲	栃木市
前橋司澄	栃木市
新井康祐	栃木市
竹中義博	栃木市
金子圭翠	栃木市
金子芳清	栃木市
桑子暉永	佐野市
中村晃雅	佐野市
青木陽山	佐野市
林唐華	佐野市
藤掛恵美子	佐野市
吉田曄月	佐野市
板橋寿鶴	鹿沼市
伊藤貴啓	鹿沼市
菅沼寶眞	鹿沼市
高橋寶准	鹿沼市
渡邊司寶	鹿沼市
齋藤超	鹿沼市
牛久敦世	鹿沼市
須永茜潮	鹿沼市
中村禮子	鹿沼市
和賀幸恵	鹿沼市
荒川實穂	日光市
皆川桂花	日光市
八木澤翠葉	日光市
風間香泉	日光市
石川瑤花	小山市
栗田緑	小山市
齋藤尋美	小山市
清水白楊	小山市
松島浩泉	小山市
山崎秋月	小山市
吉田千峰	小山市
坂下歸真	小山市
穂山真由美	小山市
石内寛子	小山市
塚原彩香	小山市
大森智美	真岡市
蔦妙明	真岡市
吉田龍水	真岡市
佐藤孝	大田原市
関谷小雪	大田原市
石曾根紫峰	大田原市
川嶋奈美	大田原市
塩野玄機	大田原市
和地春潮	大田原市
大川翠巖	矢板市
藤沼亜衣	矢板市
磯知慧美	矢板市
金田由貴子	矢板市
月井純子	矢板市

氏名	市町名
古河原文代	矢板市
野崎京子	矢板市
長谷川華泉	矢板市
長谷川麻樹子	矢板市
山口利子	矢板市
笹沼映子	那須塩原市
鈴木栄子	那須塩原市
高田美千子	那須塩原市
人見祐子	那須塩原市
室賀幸泉	那須塩原市
中山昌美	那須塩原市
黒川澄華	さくら市
津浦景子	さくら市
直井幸子	さくら市
長山洋子	さくら市
平石春水	さくら市
中山陽斗	さくら市
永井永平	さくら市
花塚香陽	さくら市
佐竹緑楊	那須烏山市
平山楽華	那須烏山市
園城皓月	那須烏山市
亀井信子	那須烏山市
関根英春	下野市
長谷富貴	下野市
松本英華	下野市
増山恭晏	下野市
山口敬峯	下野市
川崎美津	下野市
菊地芳子	下野市
篠崎春水	下野市
中村秋蕾	上三川町
小形則江	上三川町
町井緑香	益子町
石塚清音	茂木町
大塚紫月	市貝町
石川雅子	市貝町
山口美圓	市貝町
石崎 享	芳賀町
田村京葉	芳賀町
増山水豊	壬生町
渡邊春峰	壬生町
大関絹恵	塩谷町
玉居子浩美	塩谷町
根本佳苗	高根沢町
大塚浩泉	高根沢町
松田芳美	那須町
弓座恵美子	那珂川町
小沼由希	結城市(茨城県)
中田英史	守谷市(茨城県)
狩野慈雨	吉岡町(群馬県)
蓮見汀荷	板倉町(群馬県)
見目陽華	町田市(東京都)
加地香泉	東久留米市(東京都)

第78回 栃木県芸術祭美術展 写真部門 入選者(入賞者を除く)

氏名	市町名	
江川清	宇都宮市	
江川多嘉	宇都宮市	
伊奈実	宇都宮市	
伊奈克枝	宇都宮市	2点
百目鬼アイ子	宇都宮市	
大塚文雄	宇都宮市	
安納芳男	宇都宮市	
駒場恵美子	宇都宮市	
大塚美智夫	宇都宮市	
大塚雅子	宇都宮市	
佐藤重昭	宇都宮市	
大垣利行	宇都宮市	
阿久津榮子	宇都宮市	
阿久津隆	宇都宮市	
宮越栄	宇都宮市	
田中章雄	宇都宮市	
宮越則夫	宇都宮市	
堀井昭宏	宇都宮市	
渡邊正夫	宇都宮市	
小河久男	宇都宮市	
青野康廣	宇都宮市	
桜井俊夫	宇都宮市	
加藤康二	宇都宮市	2点
中山允雄	宇都宮市	
小林トミ子	宇都宮市	
中川万里子	宇都宮市	
斉藤久弘	宇都宮市	
川田征二	宇都宮市	
杉山凡土	宇都宮市	
出口勝彦	宇都宮市	
岡安栄一	宇都宮市	
入江トシ子	宇都宮市	
舟越久栄	宇都宮市	
備海進	宇都宮市	2点
江面庸夫	宇都宮市	
角田久	宇都宮市	
村岡大学	宇都宮市	
手塚孝	宇都宮市	
塙 寛	宇都宮市	
楯石ます子	宇都宮市	
宇賀神貞美	宇都宮市	

氏名	市町名	
矢古宇美那子	宇都宮市	2点
君島哲郎	宇都宮市	
菊地孝夫	宇都宮市	
横山千恵子	宇都宮市	2点
川上亨	宇都宮市	
畝山美香	宇都宮市	
澤瀬涉	宇都宮市	
大岡博美	宇都宮市	
金澤誠	宇都宮市	
伴崇夫	宇都宮市	
後藤淳	宇都宮市	
五月女薫	宇都宮市	
小野澤ヒロシ	宇都宮市	
藤田直子	宇都宮市	
佐山幸子	足利市	
佐山武雄	足利市	
新井大路	栃木市	
尾花由紀子	栃木市	
高田茂	栃木市	
高澤文子	佐野市	
島田功	佐野市	
福田信夫	鹿沼市	
大橋三千代	鹿沼市	
堂前勝雄	鹿沼市	
福田貢	鹿沼市	
永岡孝行	日光市	
高橋郁夫	日光市	
小又進	日光市	2点
吉新博	日光市	
山川隆志	日光市	
高橋和夫	日光市	
菅原英夫	日光市	
齋藤勝	日光市	2点
持田慎一	小山市	
石島幸子	小山市	
稲見英明	小山市	
高山和枝	小山市	
渡辺新一	小山市	
森嶋隆	小山市	
関克夫	小山市	
阿路靖彦	小山市	

氏名	市町名	
河村芳則	小山市	
飯島正信	小山市	
海老沼清一郎	小山市	
福井貞司	小山市	
小池五男	真岡市	
藤井義智	真岡市	
増淵明	真岡市	
川那子啓子	真岡市	
芝野尚一	真岡市	
木村晴美	真岡市	
齋藤一郎	真岡市	
佐藤治男	真岡市	
石川武男	真岡市	
佐川栄治	那須塩原市	
小菅祥一	さくら市	
小林浩	さくら市	
柴山絵美子	下野市	
玉野哲男	下野市	2点
駒場秀夫	下野市	
小川恒男	上三川町	
小川かよ子	上三川町	
小形邦夫	上三川町	
尾高基之	上三川町	
伊藤茂雄	上三川町	
野澤幸二	益子町	
吉河英和	茂木町	
桐原公子	茂木町	
加藤昌昭	茂木町	
黒崎修一	芳賀町	
古谷倅一	芳賀町	
吉岡栄	壬生町	
吉岡千恵	壬生町	
根本文夫	壬生町	
坂本良二	壬生町	
水森英雄	野木町	
手塚一信	塩谷町	
岡典子	那珂川町	
杉本静	那珂川町	
市川美枝	古河市(茨城県)	
小山とよ子	古河市(茨城県)	
江連誘里恵	筑西市(茨城県)	2点

以上 123 名  
( 132 点)

第78回 栃木県芸術祭美術展（日本画・書道・写真部門）

芸術祭賞



日本画部門

「月影」 川村 敏博  
(P100号)



書道部門

「崩れる浪 雷奔る」  
石戸 松波  
(好 150 cm × ヨ 130 cm)



写真部門

「MAX!!」 中野 一郎  
(全紙)